

令和6年12月
秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和6年12月25日(水) 午後2時00分
閉 会 : 令和6年12月25日(水) 午後3時20分
会 議 場 : 歴史文化伝承館2階会議室

出席委員 : 1番委員 大島 隆芳
2番委員 浅海 純一
3番委員 萩原 重範
4番委員 土橋 慶子

出席者 : 教育長 前野 浩二
事務局長 笠原 義浩
事務局次長兼保健給食課長 杉田 直之
教育総務課長 杉田 泰三
学校教育課主席主幹 平岡 大祐
文化財保護課長 伊藤 暁
教育研究所長 佐々島忠重

書 記 : 教育総務課主幹 中里 芳隆

1 開会宣言

教 育 長 : 令和6年12月教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、2番委員及び3番委員を指名する。

3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。
(「異議なし」の声あり)
異議なしと認め、公開とする。

4 前回会議の議事録の承認

令和6年11月27日に開会された11月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

5 報告事項

(1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 秩父地域の寒さも冬本番らしくなり、全国的にインフルエンザウイルスも活発化しているようである。秩父市では、昨日、第2学期の終業式が無事に行われ、本日より1月7日まで冬季休業日となるが、児童・生徒は、生活リズムを崩すことなく、家庭での生活が中心となるが、安全で充実した休みになってほしい。また、教職員は、第2学期の教育活動に全力を尽くしていただいたことと思う。どの学校も児童・生徒の成長のために指導し、多くの成果を残していただいた。冬季休業中は、リフレッシュをし、第3学期に備えていただきたい。

中学校3年生の12月15日現在、進路希望状況について報告する。まず、令和6年度卒業予定の生徒数は、490名である。その内、県内公立高校へ378名、県外2名、計380名で割合は77.6%である。県内私立高校へは69名、県外12名、計81名で割合は16.5%である。また、県内通信制は8名、県外12名、計20名で割合は4.1%、就職2名、専修学校1名、進路未定者等その他が6名である。秩父地区3校への進学希望者は、275名で割合は、56.1%である。全体の進学希望者は、98.6%である。進路未定者がいるため、最終的には進学率は、もう少し高くなると思う。また、私立高校の出願は、学校や選抜方法により既に始まっており、県内統一の受験日は、1月22日以

降となり、合格発表は受験日の数日後、早い学校は翌日の1月23日に行われる。県公立高校の受検日は、学力検査が2月26日、適性検査・面接が2月27日、追検査が3月3日、入学許可候補者の発表は、3月6日の日程で行われる予定である。また、小学校6年生の私立中学校への受験は、多くの学校が1月10日以降に試験が行われ、発表も当日や翌日が多いようである。中学3年生同様に各自の希望が叶うよう努力していることと思ひ、希望どおりの学校に合格できるよう願っている。先日行われた校長会議で、受験生に寄り添った適切な進路指導と進路事務、受験生が孤立感を感じないよう指導をお願いした。

- 1 番 委 員 : コロナ、インフルエンザの蔓延が心配されるが、冬休みに入り、一旦止まるのではないかと思う。受験シーズンに向け、学校、家庭で一般的な手洗い、うがい等の予防策を講じて、蔓延しないようにと思う。
2点報告する。

1点目、秩父夜祭が無事終わった。そのときに御神幸祭の御神馬の世話をしているのが羊山にある秩父市の乗馬連盟である。乗馬連盟は、現在羊山に綺麗なクラブハウスと設備があり、秩父市市営で、馬場としては豪華で、乗馬をする子どもたちが、今増えてるそうである。高校生の岸本さんが、10月の佐賀国体で優勝した。彼女は本庄の高校の乗馬クラブの在籍ではあるが、秩父市乗馬連盟にまだ名前があり、スポーツ少年団出身の方が国体で優勝するまで、秩父で技を磨いたことが非常に素晴らしいと思う。また、乗馬をする子どもが増えているということであるので、乗馬はマイナーな競技で見ることも少ないと思うが、発展して欲しいと思う。また、パリオリンピックで初老ジャパンの総監督である秩父農工出身の根岸さんが、1月12日に秩父にお見えになり、乗馬連盟で子どもたちに乗馬を指導するそうである。

2点目、秩父夜祭についてである。私は消防団の警備部長で、綱先の方にいた。昔と大きく変わったのが、小・中学生がお祭りに出るようになった。本町では中学生未満は綱に触ってはいけないので、綱の前か屋台の後ろの安全なところでという指導をしている。「伝統文化に親しむ日」ということで、出ている子どもが増えたということもあるかと思う。昔では考えられなかったが、ベビーカーを押しながら参加していた。祭りを楽しんだ小・中学生が秩父夜祭に魅力を感じて、秩父の伝統文化を支えていって欲しいと思う。

花の木小区域の話であるが、昔は子どもたちに三角形の「花小ワッペン」を付けて、お祭りに行きなさいということであった。PTA本部で、あめ薬師と夏祭りや夜祭りはパトロールをして、子どもたちの見守りをしてきたが、今、ワッペンを配らないし、またパトロールもしないそうである。パトロールをしない理由は、負担が大きいということ、コロナ禍からPTA活動が縮小の中、パトロールはしていないそうであ

る。

本町屋台が上がるのは22時で、それから祭典が始り、引き下ろすのを見ると、かなり遅くなり、本町では小・中学生は屋台が上に上がったのを見たらすぐに帰りなさいという指導をしている。祭だから、この日ぐらいというものもあるが、もし何かあった場合、夜祭の様式がガラッと変わる可能性があると思うので、各町会、それから学校も改めて更なる安全対策を促す必要があるのではないかということを感じた。

2 番 委 員 : 1点報告する。

12月17日(火)、午後6時半から英検ナイトスクール、夜勉の最終回の講座を見学し歴史文化伝承館に行った。この事業は地域人材による小・中学生の自主学習支援の場の提供と位置づけられて、実施されているということであった。当日は英検の4級5級の合格を目指して、小学校高学年、中学1、2年生の70名を超える子どもたちが集まっていた。今回、研究所長の話によると定員を上回っていたが、希望者を全て受け入れて実施されたということである。4級5級の2つの教室で別れて、受講している小・中学生は、皆真剣に講義に取り組んでいた。4級5級に別れて教えている2人の地域おこし協力隊の方は、教えるのが大変うまく、子どもたちの興味を引き付けて講義を進めていた。それをサポートする地域人材の活用のボランティアの方たちがいた。5級の小学生のクラスには一般市民の方が7、8名サポートされて、小学生は、講義中、解らないと質問をして、ボランティアの方も丁寧に対応されていたのが、印象的であった。4級のクラスは、秩父高校の生徒が10名程度サポートに入っていた。これもボランティアという形で入っていて、ある男子高校生に聞くと、この生徒は、秩父高校が毎年実施している国際交流で、オーストラリアに語学研修に行き、英語を継続的に関わりたいという思いから、このボランティアに応募したと聞いた。

令和8年度には、秩父高校と皆野高校は新校となり、国際教養科が設置される。秩父地域でのグローバル人材の育成を図ろうという趣旨の科であるので、この英検ナイトスクールで、ボランティアに参加している高校生を見て、市内の小・中学生が新校に入学して、国際的な教養を身に着けたいという思いになってくれれば良いと思う。教育委員会で、英語教育強化推進事業を推進しているので、小・中学生のみならず、高等学校を巻き込んだ英語教育、国際理解教育の推進に取り組んでいただきたいと思う。

3 番 委 員 : 1・2学期に秩父地区内で大きな事故や事件もなく、無事、2学期の終業式も迎えられ、教育長始め、教育委員会事務局の方々に感謝を申し上げる。

何回か総合教育会議に出席しているが、ほとんどディスカッションする場面がない。一方通行的な感じで、地域移行の問題についても、

市側から、いろんな議事録とか情報が必要ではないかと。教育委員会の定例会議の延長線のような感じであり、資料や説明は事務局の方で、それに基づいて我々が意見を申し上げ、最終的に市長から感想的な話がある。こういう形で良いのでしょうか。

先日、話題になった地域移行の問題についても、市民部に市民の健康とスポーツの方は全面的に、社会人のスポーツ団体、施設の管理、市民サイドのものは、市民スポーツ課の方にある。今回も教育委員会の方では、学校現場とやり取りをしたり、推進協議会の中で意見をまとめて、中間報告をしているが、肝心の受け皿の方、いくつか載せてあるが、社会人のスポーツ団体に対してもアンケートを取ったり、リサーチ等されているのかどうか。学校関係の方は教育委員会事務局が中心になって、かなり浸透して始まっているが、それぞれが最終的な部活移行の成功の姿、うまくいった姿が、若干ずれているように思う。ですから、今回のような具体的な形を例1例2というふうな形で、いろいろなパターン・ケースを作ることで、議論が深まり、実現可能性の高い形が作れるのではないかと思います。

私は8校の中学校の現場の先生方、生徒、保護者がどのようなイメージでいるのか、8校それぞれに、地域移行についてのシミュレーション等を作って、出してもらえば、良い参考になるのではないかと思います。コミュニティスクールもあり、学校運営協議会もある。秩父の8校でも、それぞれが学校の環境も違い、学校規模も違う。その中で、私たちの学校なら、このような形の地域移行ができるのか、そのようなものも、中間報告に入っているのも良いのではないかと思います。生徒や保護者、別々でそれぞれきめの細かいアンケートがされているが、それが一つになって、私たちの学校の地域移行はこのような形であるというものも、参考にして、学校で考えてもらおうと身近に自分たちの問題なのだということに繋がっていくと思う。

土・日の形についても、現行の部活動をそのままシフトしていくのではなくて、新しい発想で考えても良いのではないかと。新たな少子化の時代で、働き方改革を含め、部活動の内容も少し変容していく必要があると思うので、そういうことも考えながら、学校の様々な要望も踏まえながら、受け皿作りの方にもう少しシフトしていただきたいと思う。秩父地域ならではのことがあっても良いと思う。基本は部活動というものは、運動関係だと勝利至上主義で部活をしっかりとやらないと人格の完成に至らないことを言う信奉者もいて、非常に熱心に取り組んできたが、そのことから一歩引いて、新たな部活動のあり方、学校の校内で子どもたちも満足できる部活動のあり方、というものを根本のところから少し見直しをする必要もあるのではと考えている。奥の深い問題で、3年や4年で片がつくような問題ではないと思う。現行の形の中で、あ

る程度制約をつけて、同じような質・量ということにはいかないと思う。ある程度上限を決める中で、やりくりをしながら、先生方の勤務時間の超過にならないことも考え、子どもたちの希望も受け入れながら、あるいは自分の好きな部活ができないかもしれないが、それならこちらでやろうか、という形でうまく繋いでいける方法も、並行して考えていただきたい。放課後の使い方についても、部活以外にも、いろいろな時間の活用の仕方というのはあると思う。部活の地域移行に向けて3月に答申が出るとのことであるので楽しみにしている。秩父市は良い形のものを作ったなというものが、是非できると良いと期待をしている。

4 番 委 員 : 子どもたちは、今月「伝統文化に親しむ日」で秩父夜祭を楽しみ、学校ではレクリエーション、大掃除をしたりして、昨日無事終業式を迎え、本日より冬季休業に入った。先月から各学校では芸術鑑賞会が行われ、尾田蒔小では、音楽鑑賞会があり、埼玉県警察音楽隊の生演奏を聞くことができた。コロナ禍があつて中止となり、5年ぶりで、6年生が初めての、最後にして、最初で最後の鑑賞会と聞いた。そして、普段見たり聞いたりできない楽器を見られ、校歌を演奏してもらい、音楽隊と共に一緒に歌うこともできて、良い経験をしてきた。この鑑賞会は、保護者や地域の方々にも、参加のお声掛けがあり、地域の方、保護者は、一緒に見に来ていて、よかったという声を聞いた。子どもたちも音楽だけでなく、サインちゃんのハンドサインというのが、今警察から出ていて、それを一緒に歌いながら教えてもらったりもして、楽しく交通安全の勉強も一緒にでき、いろいろなことができてよかったという子どもたちからの声も聞いた。

今、高校の進学の話もあるが、保護者や中学3年生は、先月から学校説明会や学校見学に行つて、進学をどうするかということで悩んでいるようである。インフルエンザなど、何人か体調を崩している方もいるようなので、暖かくして事故に気をつけて楽しい正月を迎えてほしいと思う。

(2)事務局からの報告事項

事 務 局 長 : 秩父市議会12月定例会の結果について報告する。

12月定例会は、先月の教育委員会定例会で報告したとおり11月20日(水)から12月13日(金)までの24日間の会期で開催され、付議されたすべての議案が可決され無事終了した。一般質問についても通告内容を先月の定例会で報告したが、「小中学校におけるペタンクの体験学習取入れについて」「ラーケーション導入について」「自転車の通学時における安全対策について」「運動会・体育祭の日程について」「児童生徒への補助事業について」「中学校部活動について」「中学生の制服について」「教育委員会の機構について」「大田中学校校舎大規模改

造工事について」などであった。答弁書については報告資料として配布したので、後程ご覧いただきたい。

保健給食課長 : 2点報告する。

1点目、給食の提供についてである。2学期最後の提供は、小学校が20日(金)、中学校が23日(月)で終了した。大きな事故もなく給食を提供できたことを報告するとともに、3学期も安心・安全で美味しい給食の提供に努める。また、20日(金)に、学校給食物資納入業者選定委員会が開かれ、野菜類・肉加工類・乳類・調味料類・冷凍食品など、来年度、給食に食材を納入する17社の学校給食用物資納入業者が選定された。

2点目、11月の感染症発生状況についてである。新型コロナウイルス感染症は、小学生3人(10月比11人減)、中学生3人(10月比25人減)、合計6人(10月比36人減)と大幅に減少した。インフルエンザは、小学生11人(10月比10人増)、中学生0人(10月比1人減)で、合計11人(10月比9人増)であった。マイコプラズマ肺炎が増え、小学生64人(10月比42人増)、中学生18人(10月比3人増)、合計82人(10月比45人増)となっている。次に、学級閉鎖の状況である。インフルエンザで、荒川東小学校2年生が11月29日から12月1日まで。マイコプラズマ肺炎で、影森小学校4年2組が12月6日から8日まで学級閉鎖の措置をとり、週末を迎えたが、週が明けてもまだ欠席が多く、延長で12月10日から12日まで学級閉鎖を行った。インフルエンザで、荒川東小学校4年生が12月10日から12月12日、高篠中学校1年生が12月10日から12月13日、久那小学校6年生が12月11日から13日、秩父第1小学校3年生が、12月16日から18日まで、学級閉鎖の措置をとっている。

教育総務課長 : 2点報告する。

1点目、スクールバス運行管理業務についてである。現在、大滝地区から荒川西小学校・荒川中学校に通学する児童・生徒は、市職員によるスクールバス運行を行っているが、来年度からは、従来どおり、業者委託によるスクールバス運行を実施したいと考えている。業者選定は、十分な安全管理を行い、確実に業務を遂行できる業者を選定する必要から、公募型プロポーザル方式で選定した業者と契約を締結したいと考えている。12月20日から公募を開始し、来年1月20日が提案書等の提出期限となっている。その後、一次審査となる書類審査、業者からのヒアリングを踏まえた二次審査を行い、1月下旬に契約候補事業者を選定したいと考えている。契約候補事業者とは、業務委託の詳細について十分に協議を実施し、3月上旬に契約締結予定で、契約期間は、令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間で予定している。

2点目、南小学校校舎大規模改造工事についてである。工事は順調に進み、当初の予定どおり、令和7年1月末に完成の見込みである。教育委員の皆様になくなった校舎内をご覧いただきたく、1月30日(木)に予定の教育委員会定例会後、15時30分から、現場視察を行いたいと考えている。

学校教育課主席主幹 : 学校指導監および学校教育課長の代理として3点報告する。

学校指導監から終業式について報告する。昨日12月24日(火)市内1幼稚園、全小・中学校21校で終業式が行われ、無事2学期が終業した。インフルエンザ等の感染予防のため、小・中学校21校中4校が一堂に参集せず、各教室でタブレット端末を活用したリモート方式で終業式を行った。

学校教育課から2点報告する。

1点目、久那幼稚園の閉園についてである。現在、閉園に伴う事業として、記念誌の発行、記念品の作成、閉園式、施設公開、記念樹などを計画している。地域や保護者の意向に沿ったものになるよう、学校評議員やPTA役員と連携をとりながら、実施内容を計画している。閉園式は修了証書授与式と合わせて行う予定で、3月19日(水)の午前10時から、施設公開が3月21日(金)、22日(土)、23日(日)の3日間を予定している。久那幼稚園は園児が3名であるが、卒園までの間、引き続き、園児に寄り添った教育を心がけていく。

2点目、教職員のパソコン及び児童生徒1人1台端末Chromebookの修理についてである。令和6年度は、パソコン関係の修理費用が高額となり、見込みで、小学校・中学校それぞれ450万円程度となる。特にChromebookは、リース開始4年目を迎え、経年劣化による故障が多いと感じる。学校からの報告では、落下させてしまうケースが多く、液晶画面等が壊れ、高額な修繕料がかかっている。また、キーボードのタグが取れてしまうケースも多く、キーボードを強く叩かない、鉛筆やシャープペンシルで押さないなど丁寧な対応を学校に呼びかけている。

文化財保護課長 : 「文化財防火デー」に伴う文化財防火演習の実施について報告する。

「文化財防火デー」は、昭和24年1月26日に現存する世界最古の木造建造物である国宝法隆寺金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づき、昭和30年に「毎年1月26日」と定められ、本年度で71回目を迎える。全国的に文化財を火災・震災、その他の災害から守るための取り組みが行われているが、秩父市では、毎年1月26日に近い日曜日に、文化財の防火演習を消防署・消防団の協力により実施している。秩父市消防団は大きく4つの方面隊に分けられており、出場する方面隊は4隊で順番となっている。これに合わせ、演習会場もその年に出場する方面隊の地域にある文化財を対象に選定している。本年度は、令和7年1

月26日の午前、秩父市消防団吉田大田方面隊の協力により、吉田小学校の校庭を会場として実施予定である。吉田小学校の校庭には、市指定天然記念物「吉田小学校庭の大櫨」や市指定史跡「万葉歌碑」があり、学校の場所自体も「秩父氏館跡」として県の旧跡に指定されている。当日は「校庭内で何らかの原因により発生した火災が、折からの強風にあおられて延焼する危険性がある」という想定で、校庭内での放水訓練を行う計画である。

教育研究所長： 1点報告する。

11月20日(水)に、荒川中学校で「道徳教育研究推進モデル校」の研究発表会が行われた。荒川中学校は埼玉県教育委員会、秩父地区教育委員会連合会、秩父市教育委員会より委嘱を受け、令和5・6年度の2年間、「考え、議論する道徳授業」の研究を進めてきた。当日は、計51名の教員が参加し、各学年で道徳の公開授業が行われ、埼玉県の副読本「彩の国のどうとく」や文部科学省の副読本「わたしたちの道徳」の教材を活用し、「よりよい学校生活」や「よりよく生きる喜び」「自主、自立」などの内容項目について、生徒同士の対話やICTにより「考え、議論する道徳」の授業を実践していた。授業後は、授業者と参観者による分科会で闊達な研究協議がなされ、その後、全体会では、荒川中学校による研究概要の説明に対する県教育局指導者からの全体指導が行われ、より研究が深まった。また、全体指導後には、十文字女子大学教育学部の浅見哲也教授による記念講演会が行われ、「これからの考え、議論する道徳教育」について、荒川中学校の実践を基に、特別の教科「道徳」の指導のポイントや配慮事項をたいへん明確に講義いただいた。今回の研究発表を通じ、参加者が各学校へ持ち帰り、荒川中学校だけでなく、秩父市内および秩父地区、そして県内に広く、研究内容の還元を期待できる内容となった。

(3) 補助執行に関わる報告事項

教育長： 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

【質疑・応答】

3番委員： 大滝地区から、スクールバスを利用している児童・生徒は何人くらいいるのか。

教育総務課長： 令和6年度は小学生3人、中学生4人の計7人である。令和7年度は小学生5人、中学生4人の計9人である。令和12年度まで7人から8人くらいで推移する。

1番委員： Chromebookの修理費について、子どもが使う物であるので、破損とか、導入の段階で想定できることだと思う。リースの中でどこまで保証してもらえるのか、もしわかりやすい形で出ていけば教え

ていただきたい。

学校教育課主席主幹 : 1年目はメーカー保証で対応できるため、費用負担はほとんどなく、2年目以降は、保険をかけて対応している。リース使用料の中で保険をかけ、保険でまかなえない部分は修繕料で支払っている。

1 番 委 員 : 多分落としたりは、有償なのかなという気がするんですけど、後でよいので、例えば何件ぐらい壊れているのか教えていただきたい。

6 議案審議

教 育 長 : 議案審議に関わる議題は、今回、特にない。

7 協議事項

(1)後援等について

教 育 長 : 後援等について、説明を求める。

教育総務課長 : 別紙のとおり、6件の協議をお願いします。

教 育 長 : 質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、全ての事業について、後援等を承認することでいかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、事務局には、今後の処理をお願いします。

(2)1月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 1月教育委員会定例会について、1月30日(木)午後2時から歴史文化伝承館2階会議室において開催することを御提案させていただく。
(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、1月教育委員会定例会については、1月30日(木)午後2時から、歴史文化伝承館2階会議室にて開催する。

8 その他

教育研究所長 : 昨年9月に秩父市中学校部活動地域移行推進協議会条例に基づき設置された協議会で3月の答申に向けての中間報告について説明する。

9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。
以上をもって、秩父市教育委員会12月定例会を閉会する。